

## 5 Altemista テクノロジーコンサルティング室

技術に特化したコンサルティング組織を  
立ち上げて

昨今、働き方改革やDX、AI、アジャイルなどといった新たな領域、手法が賑わっている。私たちは、新たな技術を広くご提供したいという思いの下、DevRel 向けに革新的な開発手法や魅力的な技術を発信し続けるとともに、エンドユーザーに新たな顧客体験、価値を提供している。どのように勝機を見出したのか、当社の取り組みについて紹介したい。

顧客課題を  
技術を使って形にする  
コンサルティングチームを組成

NTT データ先端技術は、これまでのプリセールス職と上流部分を手がけるメンバーが集結し、技術に特化したコンサルティングチーム「Altemista テクノロジーコンサルティング室（以下、当組織）」を立ち上げた。

当社では現在でもプロダクトや技術領域ごとに事業部を形成しているが、当組織は、特定技術にこだわらず、あくまでも「顧客課題を、技術を使って形にしていく点」にフォーカスして幅広く活動を行っている。

組織組成時に社内外に向けた  
行動のポイント

当組織立ち上げに際しては、既存の「上流提案や支援との差別化」をテーマに、社外向けにはコンサルティングとわかりやすいメニュー化、高単金設定を行った。また、社内向けには活動に関する役割や動きの整理、KPI などに関して統一意識を持つよう努めている。

進むべき方向の  
共通認識を固める努力を

現場の担当者に任せて走り出してしまうこともあり、発足当時は各メンバーがそれぞれの得意領域に集中してしまったり、コンサルティングではなく細かな役務へ注力してしまったり、受注につながらない業務に時間を割いてしまったりといった傾向にあった。

コンサルティングは、仕事の一定のプロセスさえ守れば比較的自由度の高い仕事であると思われがちだ。しかし、「自分が頑張っていれば、それはコンサルティングだ」という誤った認識に陥ってしまう危険性があることを忘れてはいけない。

こうした誤認を回避するため、当組織の、特にマネジメントラインは頻繁に集まり、Slack などのコミュニケーションツールを多用しながら、案件と動きについて密に意識を共有し、進むべき方向の共通認識を固める努力を行なっている。

お客様に  
コンサルティングの提案を  
しやすい環境を育成する

現在では、幸いなことに多くのお



NTT データ先端技術株式会社  
基盤ソリューション事業本部  
プラットフォーム事業部長  
Altemista テクノロジーコンサルティング室長  
高岡 将氏

客様からコンサルティングのご依頼をいただき、感謝の日々だ。その背景には、「これまでの知見と当組織のハイレベルな人材で、お客様の技術面での困りごとや、解決されたいことなどについてコンサルティングをさせていただきます」と提案（営業活動）しやすい環境を育成してきたという事実がある。こうした取り組みが勝機につながったのではないだろうか。

今後も当組織のメンバーが当社の強みや適正を理解し、お客様の課題を解決し、要望をかなえ、コンサルティングを成功させることにより「三方よしの状態」を実現していきたい。